

# アイヌタイムズ

## 第21号

アイヌタイムズ第21号(2002年3月20日発行)からアイヌ語抜粋  
著者: 横山裕之

### エント

(アイヌ イタク [アイヌ語])

### エント (ナギナタコウジュ)

(日本語)



ナギナタコウジュ

写真提供: 姉帯正樹氏

エント フラ ルイ ペ ネ クス、パヨカカムイ  
エマカ セコロ ア・イエ。

オヤ レヘ アナク、セタエント ネヤ セタント  
セコロ ア・イエ。

川上まつ子 カツケマツ エネ ハウエアニ;  
「ネブ ネ ヤッカ サヨ オロ エント ア・オマレ  
カ キ、キキンニ ア・オマレ カ キ ワ、ア・  
エ ルウエ ネ。フラルイ ペ ネ クス ケ エマ  
カ セコロ ク・イエ コロ、ク・コロ ハポ ミナ  
カ イルシカ カ キ コロ、タンペ エ・エ ヤ  
ク ソモ エ・シイエイエ プ ネ セコロ ハウエ  
アン」。

中本ムツ子 カツケマツ エネ ハウエアニ;  
「ク・サパハ アラカ コロ ク・コットット サタ  
ント カラ クス ソイ タ アラ パ。サヨ オロ  
セタント オマレ ワ ポン カスプ アニ エネ  
レ」。

エント(ナギナタコウジュ)は、匂いが強いので、病の神がいやがると言われています。別の名は、セタエントやセタントとも言います。

川上まつ子さんは、次のように言いました:「何でもサヨさエント入れたり、キキンニ入れたりして食べるのが好きであったんだべね。わしらの口には、あんまり好きでなくてくさい物、くさい物っていえば、おっかあ笑ったり怒ったり、こういうの食べてれば病氣しないんだっていったもんだけど。」

中本ムツ子さんは、次のように言いました:「頭が痛くなると、母はナギナタコウジュを取りに外に行きました。あかゆの中に入れてさじで食べさせてくれました。」

「知里真志保の分類アイヌ語辞典」カンピ カ  
タ、エネ ア・ヌイエ ヒ;

「エント ポロンノ ア・カラ ワ、ア・サツケ ワ  
アポプテ ワ ア・ク ルウエ ネ。オムケカラ・  
アン ヒ タ カ ネノ イキ・アン ルウエ ネ。」  
青木愛子 カツケマツ エネ ハウエアニ;「ワ  
ツカ オロ セタエント ア・オマレ ワ ア・ポプ  
テ ワ、ウセイ マウエ ア・セル ルウエ ネ。  
シイエエ クル サパハ ウン 毛布 カ ネブ  
カ ア・カムレ コロ、ピリカノ セル ワ ポツ  
ペタアシク ス、オムケ ピリカ ルウエ  
ネ。ウウエヘ ア・ク ヤツカ ポツペタアシ  
ン ルウエ ネ。エネ イキ・アン ヒ ヤイス  
マウカラ ネ セコロ ア・イエ プ ネ ルウエ  
ネ」。

エント アナク 日本、アジア、ロシア、ヨー  
ロッパオロ ウシ ペ ネ。キム タ ネヤ ル  
タクサム タ ネヤ アン ペ ネ ルウエ ネ。

30cm ワノ 60cm パクノ アン ワ、シリチ  
ユク コロ プシ アン ルウエ ネ。

プシ アナク 薙刀(ナギナタ) コラチ アン ク  
ス、シサム オロ タ ナギナタコウジュ (シソ  
科) セコロ レ アン。

エント アナク 「*Elsholtzia ciliata*」セコロ 学  
名 アン。「*ciliata*」イタク イペ アナク、「シ  
ウニン ヌマ ウシ ペ」ネ。

漢方 オッタ、「香薷」セコロ ア・イエ プ  
ネ。

エント オロ ポンノ 精油 オ ルウエ ネ。

精油 アン クス フラルイ ペ ネ。

精油 オッタ エルシオルチアケトン ネヤ ナギ  
ナタケトン ネヤ、ウサ オカイ ペ アン。

精油 アニ 血行 ア・ピリカレ ワ、ポロンノ  
ポツペタアシク・アン ワ、オムケカラ ア・ピ  
リカレ プ ネ セコロ ア・イエ ルウエ ネ。

注)アイヌタイムズの著作権は、アイヌ語ペンクラブにあります。

注)1. 赤字は、アイヌ語です。

2. 赤字のイタリック文字は、主に日本語由来のアイヌ語外来語です。

「知里真志保の分類アイヌ語辞典」には、こう  
書かれています;

「莖(くき)葉は、多量に採取して、陰干しにし  
て、お茶のようにして飲みました。風邪にかか  
った時も、これを煎じて飲みました。」

青木愛子さんは、次のように言いました;「サタ  
エントを水から煮立て、その蒸気を吸わせま  
す。この時、鍋を下ろして、その鍋の上に顔  
をもっ ていき、蒸気を吸います。頭から毛布か  
何かをすっぽりかぶせると蒸気は逃げず、患  
者は全身から汗をかいて、風邪が抜けます。  
この治療の時、セタエントの煮汁を飲んで  
も発汗します。この蒸気を吸う方法をヤイス  
マウカラ(yay-su-maw-kar)と言います。」

エントは、日本、アジア、ロシア、ヨーロッ  
パに生えています。山に生えたり、道ばたに生  
えます。

30cmから 60cmほどになり、秋には花穂(か  
すい)がなります。

花穂(かすい)はナギナタのようなので、日  
本ではナギナタコウジュ(シソ科)という名前  
です。

エントは、「*Elsholtzia ciliata*」という学名  
です。「*ciliata*」は、緑毛のあるものという  
意味です

漢方では、香薷(こうじゆ)と呼ばれます。

エントには、少しの精油を含んでいます。

精油は強い匂いの元です。

精油成分には、エルシオルチアケトンやナ  
ギナタケトンなどがあります。

精油は、血行を盛んにし、発汗を促進し、  
解熱する作用があると言われています。